

## 中国百科検定 問題 特級 (地理・世界遺産)

第1問 吉林省の省都はかつて「満州国」の首都として「新京」と名付けられていた。この都市は現在、何と呼ばれているか。

第2問 雲南省は東部の亜熱帯高原地帯から北西部の亜寒帯山岳地帯までさまざまな気候風土があり、多彩な少数民族が暮らしている。この省の省都はどこか。

第3問 唐代、その首都は一時洛陽に移動されたこともあったが、基本的に長安にあった。その地は現在ではどの省に属するか。

第4問 巢湖という湖に面した合肥市は三国志にも登場する歴史の町であったが、近年は中国のシリコンバレーとも言われるハイテク都市となっている。この都市はどの省の省都か。

第5問 毛沢東が生まれ、かつ青年時代に活動した省では今もなお毛沢東を神棚に祭る人々も多く、かつまた劉少奇や胡耀邦など革命第一世代や第二世代の多くの革命家も輩出している。この省の省都はどこか。

第6問 日露戦争において日本軍が203高地を奪取した後、停泊するロシア艦隊を攻撃した軍港はどこか。

第7問 明清時代に山西商人が活動の本拠地とし、かつ初期的な銀行券の発券も行なわれた都市で、完全に残された城壁を持つ山西省の都市はどこか。

第8問 河北省、河南省の「河」とは黄河を意味する。これに対し、湖南省、湖北省の「湖」は何を意味するか。

第9問 中国の朝鮮族は各方面で活発に活動し、中国東北部から他省に多くが移住している。韓国企業の進出が多く、よって彼らを引き付けている中国国内の省はどこか。

第10問 今年新たに中国大使として日本に着任した孔鉉佑氏は朝鮮族である。この朝鮮族がもっている唯一の自治区域は何であるか。

第11問 新疆ウイグル自治区は世界でもっとも海岸から遠い土地であるため、人々は高い山脈の雪解け水を農業用にうまく使う努力を積み重ねてきた。自治区を南北に分ける最も重要な山脈は何か。

第12問 高い山脈が中国の省や自治区の境界となることがある。新疆ウイグル自治区のクンルン山脈はどの省ないし自治区との境界となっているか。

第13問 中華人民共和国が北京で成立した1949年には、チベットはまだ新政府の統治下にはなかった。その後、中国への帰属を認める17カ条協定が成立したのは何年か。

第14問 今年、香港では多くのデモが起こり、本土との「1国2制度」が揺らぐ事態となった。この「1国2制度」は返還後何年続けられることになっているか。

第15問 中国の主要民族たる「漢族」の名は、前漢・後漢の「漢」という国名から来ている。現在、この漢族は全人口のどの程度を占めているか。

第16問 中国にはチュルク系、イラン系、一部モンゴル系民族以外にもイスラム化した民族がいる。言語などで漢族と区別がなくともイスラム教を信じるようになった民族は何と呼ばれるか。

第17問 雲南省麗江市とその周辺にはトンパ文字と呼ばれる表意文字を持つ母系で一妻多夫制の民族が住む。この民族は何と呼ばれるか。

第18問 ダライラマとはもともとモンゴルのアルタン・ハーンがゲルク派の開祖ツォンカバとその「転生」者に与えた称号であった。その後、代々引き継がれ、現在に至っている。現在のダライラマはその何世にあたるか。

第19問 チワン族は広西チワン族自治区を構成するほどの人口を持ち、2010年の人口センサスでは約1700万人を数えた。この人口は中国の少数民族の中で何番目に大きいか。

第20問 人口の33%を少数民族が占める雲南省には、様々な文化を持った少数民族が暮らしている。南端のシーサンパンナ地区で「水かけ祭り」をする民族は何か。

第21問 チベット族はアムド、カム、ウ・ツァンと呼ばれる地域に広く分布している。そして、このひとつの音を取ってチベット族は「○族」と呼ばれる。「○」に当てはまる漢字を書け。

第22問 旧満州地域にはかつて戦前期に「間島」と呼ばれる地区があったが、この中心都市はどこか。

第23問 カシミール地方は3カ国が領有権を主張する複雑な紛争地域となっている。しかし、ある特定の国との間では中国は領有権問題を話し合いで解決している。それはどの国か。

第24問 チベット族はチベット自治区以外にも、青海省、四川省、雲南省と甘肅省に広がり、各地でチベット仏教寺院を建設している。かつては108の小寺を包括し、活仏も500人を擁した甘肅省夏河県にある寺院の名称は何か。

第25問 大陸中国では台湾の少数民族は一括して「高山族」と呼ばれているが、現地台湾ではアミ族、パイワン族、タイヤル族など約20の民族として認定されている。これら諸民族は何と呼ばれる語族に属するか。

第26問 ベトナムの主要民族たるキン族は中国国内にも一部住んでいるが、沿海部に住んでいるため「半農半漁」の生活を営んでいる。この民族は漢語では何と表記されるか。

第27問 ミャオ族、ヤオ族、コーラオ族、ショオ族によって構成されるミャオ・ヤオ系の諸民族は貴州省や雲南省といった山岳地帯を中心に分布する。彼らがこのような分布となったのは古代に南下したからである。どのような理由で南下したか。

第28問 中国の首都北京には明代以降に造られた世界遺産がいくつかある。清朝末期に、万寿山、昆明湖等で知られる頤和園を改修させたのは誰か。

第29問 中国南部には壮大なカルスト地形が広がり、世界遺産が点在している。なかでも「天下第一の奇観」と言われる雲南省の自然遺産は何か。

第30問 明清代、大運河沿いの条件と財力を背景に江南地方には多くの中国式の古典庭園が造られた。拙政園、留園で有名な蘇州は何省にあるか。

第31問 かつて華北から南方に移住してきた客家の人々が、獣や外敵の襲来に備えて造った福建省西部と南部の山中に見られる独特の円形や方形の居住用建物は何か。

第32問 峨眉山は中国四大仏教名山のひとつである。有名な明代建造の報国寺など26の寺がある。その峨眉山とセットで世界遺産に認定された四川省の石刻座像は何か。

第33問 長江、メコン川、サルウィン川の3つの大河はその上流で並行して流れている。「三江併流」と呼ばれるこの世界遺産は、何省にあるか。

第34問 張家界とも呼ばれ、湖南省の西北部に位置する壮大なカルスト地形の奇観は、3000本以上の石柱でも有名である。天子山自然保護区などで構成されるこの世界遺産は何か。

第35問 西湖はマルコ＝ポーロがその美しさを絶賛した景観地で、白居易、蘇東坡なども造成に関わった西湖十景はとくに有名である。何省にあるか。

第36問 中国五岳の一つで山東省にあり、古来信仰の対象として秦の始皇帝等が天地を祀る「封禪」を行なった場所でもある世界複合遺産は何か。

第37問 世界遺産「大運河」のうち、黄河と現在の北京を結ぶ永濟渠を築いた皇帝は誰か。

第38問 清朝は満州族が打ち立てた王朝である。その皇帝陵である昭陵は北陵とも呼ばれるが、何省にあるか。

第39問 中国の代表的な世界遺産である「万里の長城」は、始皇帝が整備して以降、その後も改修増築が行なわれてきた。いつの時代まで防御施設として改修が続いたか。

第40問 世界複合遺産は、自然に恵まれた風景地であると同時に、文化や歴史に関わるものである。安徽省にあり古来より水墨画に描かれてきた地で、世界複合遺産に登録されている山は何か。